

施策分類名	52 子ども未来・少子化対策
施策の目的	■子どもたちが、心身ともに健康・健全に成長できるまちにすること
施策分類の計画終了時の目指す姿	●生まれてくる子どもやこれから育っていく子どもたちが家庭で温かく見守られ、地域から祝福され、留萌に住む人々が子どもを通して喜びに満ちた生活を送れ、さらには親が出産や子育て、仕事に楽しみを持ちながら安心して生活し、地域で助け合うまちになっています。

plan(P)

Do(D)

No	成果指標	単位	基準値	2015調査	2016調査	2016目標値
68	子育てしやすいマチと感じる市民の割合	%	24.6	22.2	22.9	40.0
69	地域の子どもの育成や支援に対する満足度	%	19.2	23.7	28.2	42.0

上記施策を推進するために貢献する事務事業

事務事業名	実施主体	事業費(総額)	事業費(一財)	一般人工	嘱託人工	臨時人工	これまでの改善経過(手段、事業費等)
児童福祉統括事業	市	208千円	208千円	0.1人工	0.0人工	0.0人工	事業の効率化など、必要最小限の経費で事業を実施している。
児童手当扶助費	市	222,450千円	33,945千円	0.8人工	0.0人工	0.0人工	電算システム等を活用した受給資格管理の適正化を図った。
児童手当支給事業	市	379千円	379千円	0.1人工	0.0人工	0.0人工	事業の効率化など、必要最小限の経費で事業を実施している。
児童扶養手当扶助費	市	118,809千円	79,206千円	0.2人工	0.7人工	0.0人工	支給対象外の事実婚などの把握など受給資格確認を徹底した。
児童扶養手当支給事業	市	22千円	22千円	0.0人工	0.0人工	0.0人工	事業の効率化など、必要最小限の経費で事業を実施している。
未熟児養育医療給付事業	市	1,573千円	-159千円	0.1人工	0.0人工	0.0人工	養育医療を必要とす未熟児に対する扶助を適正に行った。
子育て支援事業	市	146千円	-4,822千円	2.5人工	0.0人工	1.0人工	子育て施策の一元化を進めるため、組織体制を見直した。
ファミリーサポートセンター委託料	市	3,145千円	1,049千円	0.1人工	0.0人工	0.0人工	H25より、拠点をまちなかに移転し、利便性の向上を図った。
家庭児童相談室運営事業	市	5千円	5千円	0.0人工	1.0人工	0.0人工	児童相談所等が開催する各種研修会に参加し、スキル向上に努めた。
幼児言語治療教室運営事業	市	97千円	97千円	0.1人工	2.0人工	0.0人工	小学校など関係機関と連携・協力し事業を実施した。
母親クラブ活動費補助金	市	1,134千円	1,134千円	0.1人工	0.0人工	0.0人工	登録会員数に応じた補助金額となるよう、補助要綱を一部改正した。
乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問事業	市	164千円	-226千円	0.5人工	0.0人工	0.0人工	保健医療課と連携・協力し、事業を実施した。
留守家庭事業	市	8,399千円	-5,653千円	0.7人工	0.0人工	7.0人工	保護者ニーズを考慮し、開設時間の延長に関する環境整備を行った。
障がい児養育支援事業委託料	市	4,044千円	4,044千円	0.5人工	0.0人工	0.0人工	支援の必要な児童が多く利用する児童センターに重点的に措置した。
児童館運営管理事業	市	12,629千円	12,615千円	0.7人工	6.0人工	6.0人工	児童厚生員の雇用確保と働きやすい環境作りを行った。
子ども・子育て支援統括事業	市	84千円	84千円	0.4人工	0.0人工	0.0人工	子ども・子育て支援事業計画の担当係を設置し事業を推進した。
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	市	8,763千円	0千円	0.2人工	0.0人工	0.0人工	
子ども・子育て支援システム改修委託料	市	538千円	270千円	0.1人工	0.0人工	0.0人工	
国庫負担金等精算返還金(未熟児養育医療)	市	112千円	112千円	0.0人工	0.0人工	0.0人工	
国庫負担金等精算返還金(児童手当交付金)	市	367千円	367千円	0.0人工	0.0人工	0.0人工	
国庫負担金等精算返還金(子育て世帯臨時特例給付金給付事務費)	市	1千円	1千円	0.0人工	0.0人工	0.0人工	

事業費計 383,069千円 122,678千円 人件費換算 101,501千円

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

成果指標としている数値については、増加傾向であるものの目標値を下回っていることから、今後は、子育て当事者等からのニーズ調査においていただいた様々な子育て施策に関するご意見等を踏まえ策定した「留萌市子ども・子育て支援事業計画」をより一層推進し、成果指標に掲げる数値目標の向上に努めていく。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

施策を推進するために貢献する各事務事業については、留萌市の子育て施策の方向性を示した「留萌市子ども・子育て支援事業計画」にすべて網羅されており、同計画の推進とともに施策の推進が図られるものとする。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

平成27年度から開始した「留萌市子ども・子育て支援事業計画」に基づく子育て施策を推進し、毎年度PDCAサイクルにより計画の推進・管理を行っていく。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

地域の子どもの育成や支援に対する満足度を向上させるため、障害児に関する様々な障害福祉サービスを受けられる環境整備が必要である。障がい児の支援については、地域全体が見守り、支えていくような環境づくりが必要である。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

障がい者(児)の自立に向けて、地域全体が見守り、障がい者(児)の暮らしを支えていくような環境づくりが必要である。
留萌市障がい者保健福祉計画(第3期:平成25年度～平成29年度)、留萌市障がい福祉計画(第4期:平成27年度～平成29年度)に基づき、障がい者の自立と積極的な社会参加を促進し、障がいのある人もない人も、共に安心して暮らせるまちづくりを推進していく。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

今後もより一層障がい児とその保護者が安心・安全に暮らせるまちづくりに向けた取り組みを積極的に進めていく必要がある。
地域が見守り、障がい者(児)の暮らしを支えることができるように、障害者差別解消法の施行に併せ、市民の障がい者(児)に対する理解不足の解消のため、法の趣旨等の周知・啓発が必要である。

施策分類名	53 保育園
施策の目的	■子どもたちが、心身ともに健康・健全に成長できるまちにすること
施策分類の計画終了時の目指す姿	●保育ニーズの多様化に対応するため、保育サービスの充実が図られています。 ●子育て世代の負担が軽減され、地域社会全体で安心して子育てができる環境が整備されています。

No	成果指標	単位	基準値	2015調査	2016調査	2016目標値
67	年齢別人口で見える子ども(0歳~14歳)の割合	%	12.5	10.5	10.3	12.5→
68	子育てしやすいマチと感じる市民の割合	%	24.6	22.2	22.9	40.0
70	幼稚園と保育所に対する満足度	%	16.5	22.5	21.3	42.0

plan(P)

Do(D)

上記施策を推進するために貢献する事務事業

事務事業名	実施主体	事業費(総額)	事業費(一財)	一般人工	嘱託人工	臨時人工	これまでの改善経過(手段、事業費等)
留萌萌幼会助成事業(土地借上料)	市	461千円	461千円	0.01人工	0.0人工	0.0人工	固定資産税の評価額等を参考に金額を算定
保育士配置等補助金	市	7,509千円	7,509千円	0.1人工	0.0人工	0.0人工	補助基準単価を随時見直し
児童福祉施設(保育所)管理事業	市	71千円	71千円	0.01人工	0.0人工	0.0人工	事業の効率化など、常にコスト意識をもって事業を実施
児童福祉施設(保育所)運営事業	市	246,074千円	51,503千円	0.7人工	0.0人工	0.0人工	国の基準に基づき、各保育園に支弁

事業費計	254,115千円	59,544千円	人件費仮換算	6,373千円
------	-----------	----------	--------	---------

※人件費については、H27職員人件費平均単価を用いて算出する。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

就学前児童数については少子化により年々減少傾向にあるが、保護者の就労等により家庭内保育が困難な児童に大きな減少はみられず、幼児保育のニーズは一定の水準で推移すると想定される。
また、近年の社会情勢や女性の社会進出などにより、低年齢児保育を希望する保護者が増加している。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

保護者や保育園児の安心・安全を確保していくために、保育所運営法人の安定した経営を確保するとともに、多様なニーズに応える人材の確保や質の高い保育事業を展開しており、効果的な施策であると考えます。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

「留萌市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援施策の充実を図るため、子ども・子育て会議の意見や保育所を運営する社会福祉法人の意見などを十分に踏まえ、事業を進めていく。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

就学前児童数については少子化により年々減少傾向にあるが、保護者の幼児教育に対する需要は引き続き維持されていくと考える。このため、幼児教育の機会の維持・拡大を図るとともに、幼児教育の資質向上の取り組みが必要である。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

幼児教育の中心となる幼稚園就園を支援する制度であり、就園にかかる費用負担の軽減策として、国の基準に準拠し、補助しているものであり、施策の推進として適切な手法と考える。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

公立幼稚園がない本市において、幼児教育を受ける機会の確保及び私立幼稚園の園児確保による運営法人の安定のため、本事業は必要であることから、今後も引き続き国の制度の改正に合わせて実施していくとともに、保育園の利用料との比較検討を行うなど本制度を適正に推進する。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

両指標は子育て施策全体に係る満足度であるため、通園センター運営管理事業に係る満足度を推し量ることは困難であるが、今後も利用者のニーズをしっかりとらえて療育の向上に努めたい。

近年の利用者増への対応に関しては、平成24年度に施設の改修等の対応を行い、平成25年度には指導員を1名増員し、平成26年度には正職員の児童発達支援管理責任者の配置を行っている。さらに今年度は正職員の比率を高めたほか、新たに作業療法士1名を採用するなど施設環境の向上や指導體制の充実を図ったところである。今後も施設の狭隘・老朽化への対応や利用者数に応じた適正な指導員の配置など、安定した療育環境の維持に細心の注意を図る必要がある。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

通園センターにおいては、未就学児を対象とした児童発達支援や小中学生を対象とした放課後等ディサービスを行い、留萌南部地域における児童の療育や保護者支援を中心に事業を実施しており、さらに市町村の発達支援センターとして、就学支援や訪問療育、関係機関との様々な連携・支援を行うなど、広域の療育施設として必要な役割を果たしていると考えます。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

留萌南部3市町の開設による共同事業であり、心身に障害を抱える幼児・児童やその家族にとっては、相談支援を含めて重要な事業であると考えます。

今後も、増加傾向にある発達に遅れがある子どもへの対応や、関係機関との連携強化、法改正に伴う業務量に十分対応することができるよう職員体制の充実や施設環境の向上と療育環境の整備に努めたい。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

青少年施策については、幅の広い、様々な角度からの事業展開が必要であり、指標数値から分析することは難しいが、「地域のこわいおじさん・おばさん運動」は、青少年の健全育成が社会全体の問題でもあることから、市民一人ひとりが日常的に取り組めるひとつの意識啓発として取り組んでいる。今後も、青少年に関わる関係機関や地域における関係団体と連携を密にし、さらに活動の輪を広げていくよう事業を展開していく。
また、非行防止の原点は、早期発見と早期指導であるため、非行防止活動も含め青少年の健全育成事業を継続して取り組むことが重要であると考えられる。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

青少年の健全育成については、一つ一つの事業がすぐに効果を発揮するものではなく、継続することによってその効果が見えてくるものもあることから、地道な活動が必要であり、その活動について積極的に情報を提供する必要がある。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

青少年の健全育成の観点から従来の事業を継続して実施し、また、青少年に関わる関係機関や関係団体との連携を密にし、より効果的な事業となるよう見直しを進めていく。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

「地域の子どもの育成や支援に対する満足度」については、年度により増減しているが、同程度で推移している。
「PTA研究大会事業」については、学校、家庭、地域と連携し、情報や課題を共有することによって、PTA組織が活性化されるほか、「地域の教育力」の向上が期待できることから必要な事業と考えており、関心を持つ演目や協議内容等について研究を進める。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

「PTA研究大会事業」へは行政としての支援は必要であり、最低限の財政支援を必要としている。引き続き、事業への協力を行い、青少年の健全育成に努めていく。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

「PTA研究大会事業」は、家庭教育の充実やPTA活動の活性化のために必要な事業であり、家庭・学校・地域・行政がそれぞれの役割を再認識し、協働して子ども達の健全な育成を図らなければならない。

施策分類名	57 学校施設
施策の目的	■児童・生徒が、心身ともにバランスよく成長できること
施策分類の計画終了時の目指す姿	●子どもたちが安全で安心して学べる学校施設の整備とともに、時代の変化に対応した魅力的かつ良質な教育環境の整備により、子どもたちの夢と可能性が育つ学校教育が行われています。

No	成果指標	単位	基準値	2015調査	2016調査	2016目標値
72	学校施設的环境整備に対する満足度	%	—	60.5	64.5	50.0
73	小・中学校における学習状況に対する満足度	%	—	59.3	60.5	50.0
74	小・中学校における学校生活に対する満足度	%	—	62.9	62.2	50.0

plan(P)

Do(D)

上記施策を推進するために貢献する事務事業

事務事業名	実施主体	事業費(総額)	事業費(一財)	一般人工	嘱託人工	臨時人工	これまでの改善経過(手段、事業費等)
小学校運営事業	留萌市	10,367千円	10,367千円	0.30人工	0.30人工		
小学校管理事業	留萌市	63,011千円	62,660千円	0.40人工			
中学校運営事業	留萌市	6,507千円	6,507千円	0.20人工	0.15人工		
中学校管理事業	留萌市	35,722千円	35,489千円	0.30人工			
旧学校施設解体事業	留萌市	13,055千円	755千円	0.05人工			
教員住宅解体工事	留萌市	3,110千円	10千円	0.05人工			
教員住宅整備工事	留萌市	3,467千円	3,467千円	0.05人工			
東光小学校整備事業	留萌市	170,557千円	220千円	0.20人工			
緑丘小学校法面復旧工事	留萌市	10,994千円	10,994千円	0.05人工			
潮静小学校屋体改修工事	留萌市	10,476千円	76千円	0.05人工			

事業費計	327,266千円	130,545千円	人件費仮換算	13,736千円
------	-----------	-----------	--------	----------

※人件費については、H27職員人件費平均単価を用いて算出する。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

環境整備の指標は、平成26年度に留萌小学校を改築、平成27年度には東光小学校の耐震補強工事、潮静小学校屋体の屋根改修工事を実施するなど、老朽化している施設の計画的な整備を進めていることもあり、4ポイント増加となった。

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす場であるとともに、災害発生時には、児童生徒の安全確保や地域住民の避難場所となるなど、地域において重要な役割を担う施設であるが、一部の学校施設は築30年以上を経過し老朽化が著しいため、施設の改修や耐震化を含めた安全性の確保が課題であり、今後も計画的な整備を進めていく。

また、学習生活や学校生活の指標については、横ばいから上昇傾向にあるが、市内のほとんどの学校が小規模校となっている状況であり、学校規模による学校教育の影響について、教育効果や学校経営の観点からも様々な課題があることから、市として教育の質を確保するためにも、適正な学校規模の維持に努めていく必要がある。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

学校生活や学習面の指標については、計画的な机・椅子の更新をはじめ、学校要望に基づく備品の整備や更新を行うなど、限られた財源を有効に活用して教育環境の質的向上に努めている。

環境整備の指標については、施設の不具合が発生した場合、緊急性が高いものを随時補修対応しているものの、屋上防水やトイレ、水飲み場等の衛生設備、内外装の改修が必要な施設が多数あることから、「留萌市立小中学校適正配置計画(平成23～29年度)」に基づき、緊急度や優先度を判断し大規模改修や耐震補強工事を実施していく。

また、閉校校舎の利活用や解体、教員住宅の解体・整備に取り組むことで、今後の学校施設の集約化と延命化を図り、限られた財源を有効に活用していく。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

老朽化が進む学校施設について、時代の変化に対応した「21世紀の学校」にふさわしい教育環境を確保するため、限りある財源の優先的・重点的配分により耐震化、大規模改修工事などの整備を効果的に進めていく必要がある。

特にICTの利活用推進に向け、子どもたちが教室でタブレットを活用できる無線LAN環境の構築など、今後の教育の情報化に対応した施設整備が急務となっている。

今後も小中学校施設の適切な維持管理に取り組み、各施設の整備箇所を明確にし、計画的な整備を実施していくとともに、耐震基準に満たない旧学校施設や、老朽化により居住できない教員住宅については、管理保安上の観点からも早期に解体を実施していく。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

市内の交通事故発生件数は年々減少傾向にあるが、全国的に飲酒運転が関係する悲惨な交通事故が後を絶たず、交通ルールやマナーを守らないドライバーの実態が目立ってきているとともに、高齢者の自動車運転による交通事故が増える傾向にあることから、さらに安全対策を進める必要がある。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

「交通安全計画」に基づいた活動は有効であり、留萌警察署など協力機関と連携を図りながら、①交通安全に関する運動・事業の実施、②児童や生徒への交通安全教育・指導、③高齢者への交通安全啓発の実施など中心に全市的に取り組むことで、事業の推進につながるものとする。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

他都市の交通安全推進事業などを参考にしながら、より効果的な活動を模索していく。

施策分類名	58 学校教育
施策の目的	■児童・生徒が、心身ともにバランスよく成長できること
施策分類の計画終了時の目指す姿	●地域の信頼に応える「開かれた学校」の推進、確かな学力の向上及び豊かな人間性と心身の健康を育む教育の推進により、子どもたちの笑顔と成長の姿が見えます。

plan(P)

No	成果指標	単位	基準値	2015調査	2016調査	2016目標値
72	学校施設的环境整備に対する満足度	%	—	60.5	64.5	50.0
73	小・中学校における学習状況に対する満足度	%	—	59.3	60.5	50.0
74	小・中学校における学校生活に対する満足度	%	—	62.9	62.2	50.0
76	子どもの教育について家庭と学校の連携が十分だと感じる保護者の割合	%	—	69.8	71.6	60.0

Do(D)

上記施策を推進するために貢献する事務事業

事務事業名	実施主体	事業費(総額)	事業費(一財)	一般人工	嘱託人工	臨時人工	これまでの改善経過(手段、事業費等)
小学校教育振興事業	留萌市	26,322千円	26,322千円	0.50人工	0.30人工		スキー授業再開(H23)、プール授業再開(H24)
教育扶助事業(小学校)	留萌市	13,567千円	13,102千円	0.30人工			
中学校教育振興事業	留萌市	17,590千円	17,590千円	0.40人工	0.20人工		スキー授業再開(H23)
教育扶助事業(中学校)	留萌市	11,910千円	11,595千円	0.20人工			
学校保健事業	留萌市	10,277千円	9,742千円	0.50人工			
スクールソーシャルワーカー活用調査研究事業	留萌市	309千円	0千円	0.10人工			
スクールガード・リーダー配置事業	留萌市	172千円	58千円		0.05人工		
冬期通学費補助金(小学校)	留萌市	0千円	0千円	0.01人工			幌糠地区スクールバスに同乗(H26)
冬期通学費補助金(中学校)	留萌市	31千円	31千円	0.02人工			
遠距離通学費補助金	留萌市	890千円	673千円	0.05人工			
中体連参加費補助金	留萌市	2,500千円	2,500千円	0.02人工			
特別支援教育推進事業	留萌市	205千円	205千円	0.50人工			
子どもの食農教育推進事業	留萌市	311千円	0千円	0.10人工			
デジタル教材活用推進事業(小学校)	留萌市	1,223千円	1,223千円	0.10人工			

事業費計	85,307千円	83,041千円	人件費仮換算	22,876千円
------	----------	----------	--------	----------

※人件費については、H27職員人件費平均単価を用いて算出する。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

今年度の成果指標は、前年度と比較し横ばいから上昇傾向にあり、目標値も上回っていることから一定の評価を得ているものと考えている。
環境整備の指標については、平成26年度に留萌小学校を改築、平成27年度には東光小学校の耐震補強工事、潮静小学校屋体屋根改修工事に取り組むなど、老朽化している施設の計画的な整備を進めていることもあり上昇している。
学習状況や学校生活の指標は、横ばいから上昇傾向で、学習補助員や特別支援教育支援員の配置による指導体制の充実や、放課後や長期休業期間中の学習サポート、習熟度別の学習の実施、ICT機器の活用によるわかりやすい授業の取り組みなど、各校が子どもの特性にあわせたきめ細やかな指導に取り組んでいることが寄与している。平成27年度全国学力学習状況調査の結果(都道府県別の正答率)は、中学国語A、B、中学理科を除き全国平均以下であるが、全国平均正答率との差は縮まる傾向にあり、学力向上の取り組みの成果が一定程度表れてきていることから、引き続き教育の質を高めるための授業改善に取り組んでいく必要がある。
また、学校だよりでの情報提供、家庭学習や生活習慣改善の取り組みなどで、学校と保護者が連携協力を図っていることから、家庭と学校の連携に係る指標が高くなっており、今後さらに地域や家庭との連携を深め、開かれた学校づくりを目指していく。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

学習状況の指標については、確かな学力の向上に向け、基礎・基本の確実な定着を図っていく必要があり、個々に応じたきめ細やかな指導を充実させるため、ティームティーチングや習熟度別の学習、年間を通じた学習補助員の配置など指導体制の充実を図り、学習規律やノート指導の充実、ICT機器の活用など学校が組織的に子どもの学ぶ意欲を高め、わかる授業づくりに努めている。
また、教育の情報化を推進するとともに、デジタル教材(ICT機器)を積極的に活用し、その特徴を生かすことによって、基礎的・基本的な知識・技能の習得、これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度を育み、21世紀を生きる子どもたちが情報社会の進展に主体的に対応できる能力の育成を目指している。
学校生活の指標については、特にいじめや不登校児童生徒への対策として、スクールソーシャルワーカーを配置し、学校・関係機関と連携し早期発見、早期対応はもとより、個々の実態に応じた対応に努めており、各校が策定した学校いじめ防止基本方針に基づき組織的な対応を行うことで、子どもたちが安心して学校生活を送れるような体制を整備している。
地域の信頼に応える「開かれた学校」の推進、「確かな学力」を育成する学習指導の推進、豊かな人間性と心身の健康を育む教育の推進を図ることを目的に各種施策を実施していることから、小学校・中学校における教育の充実に対する満足度を高める手法として効果的である。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

全国学力学習状況調査の結果から、子どもたちはメディアとの接触時間が長い傾向にあり、基本的な生活習慣や学習習慣の形成について、依然として改善の余地があることから、子どもたちの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むために、生活リズムチェックシート等を活用した生活習慣の見直しや、家庭学習の充実など、学校・家庭・地域と連携を図りながら取り組みを進めていく必要がある。
児童生徒の問題行動等に対しては、家庭環境に起因するケースも多いことから、スクールソーシャルワーカーを中心に教育委員会・学校・関係機関によるケース会議を開催するなど、連携を図り情報を共有していく必要がある。
また特別支援教育では、支援を必要とする幼児・児童生徒の実態把握や適切な支援を行うため、市内各幼稚園・保育所及び高等学校との連携を図り、情報を共有することで、一貫した教育支援が行えるよう取り組みを進めていく。
今後も児童生徒の笑顔と成長をしっかりと支えることのできるよう、学校教育の充実に努めていく。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

※前頁施策評価調書による。

check(C)

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

※前頁施策評価調書による。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

※前頁施策評価調書による。

action(A)

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

成果指標については、当該両事業のみで判断できるものではないが、3年間とも目標値を上回っており、満足度の推移もほぼ上がってきていることから、一定の評価が得られているものとする。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

嘱託臨時職員配置事業については、多種多様な業務内容に応じた勤務時間や専門性などに留意した嘱託職員及び臨時職員の配置であり、効果的な手法と考える。

英語指導助手配置事業については、JETプログラムによる招致事業は交付税措置がなされているものであり、費用対効果は高い。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

嘱託臨時職員配置事業については、多種多様な業務がある中で、専門職の正規職員化や任期付職員の活用など、直面する課題に対応し得る組織の見直しを図りながら、嘱託職員又は臨時職員の活用についても見極めていく必要があると考える。

英語指導助手配置事業については、今後も保育園・幼稚園への派遣も含めた事業の継続を図っていく。また、平成32年度からの学習指導要領の全面改訂を見据え、学校からの意見なども踏まえながら、ALTの増員について検討する必要がある。特に、小学校、保育園等においては、児童、園児とコミュニケーションを図るうえで、日本の語学を有したALTが望ましいため、JETプログラム以外の人材確保の方法がないか検討が必要である。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

学校給食は、栄養バランスに配慮した食事ができるように工夫し、献立は魅力ある食事内容とするよう季節や地域の産物など考慮しながら、いろいろな食品を組み合わせ充実を図っている。また、保護者を対象とした「栄養バランスを視点とした学校給食メニューに対する満足度」調査でも高評価をいただいた。食育推進に向けた食育指導回数も平成26年度30回、平成27年度32回と微増しており、今後も継続していく。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

学校給食は教育の一環であり、地元食材100%給食事業は、地元留萌の食文化を継承と栄養バランスの取れた食習慣を身に付けるための食教育の題材として効果的であり、成果指標でも高評価をいただいている。また、給食センター見学試食会においては、参加人数は少なかったがセンターの様子や試食をしていただくことで、食教育に対する理解が深まることが期待できるため、今後も継続していく。給食センター調理衛生環境等改善事業は、H27年度は食器洗浄機を更新し、給食用食器(椀)を購入したことで、より安全・安心な給食が提供された。今後も年次計画に沿って事業を進める。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

成果指標で高い評価をいただいております。今後も地産地消率の向上を図り、さらに高評価を得られるよう努力する。また、調理衛生環境改善と調理機器更新は計画に沿って進める。

施策分類名	60 社会教育
施策の目的	■市民が、生涯にわたって学ぶことができ、心豊かに暮らせること
施策分類の計画終了時の目指す姿	●生涯学習に積極的にチャレンジできる環境が整い、多くの市民が生涯学習に取り組んでいます。 ●市民が主体的な学習活動を実践できるよう、民間、NPO、大学等との連携が進み、様々な生涯学習の機会が増えています。

plan(P)

No	成果指標	単位	基準値	2015調査	2016調査	2016目標値
79	図書館の市民一人当たりの貸し出し冊数	冊	4.8	4.3	4.1	5.3
81	自ら生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	29.9	34.1	31.8	65.0
82	社会教育環境の充実に対する満足度	%	18.9	12.3	13.4	36.0

Do(D)

上記施策を推進するために貢献する事務事業

事務事業名	実施主体	事業費(総額)	事業費(一財)	一般人工	嘱託人工	臨時人工	これまでの改善経過(手段、事業費等)
社会教育統括事業	市	285千円	284千円	0.2人工			
審議会等事業	市	69千円	69千円	0.2人工			H18からH20に類似審議会等を統合。経費節減や簡素化を図った。
成人式事業	市	284千円	284千円	0.2人工			
図書館統括事業	市	37千円	37千円	0.05人工			H21から図書館には指定管理者制度を導入。H27更新
図書館運営管理事業	市	33,191千円	33,191千円	0.05人工			H21から図書館には指定管理者制度を導入。H27更新
自然観察会事業【ゼロ予算】	市	0千円	0千円	0.15人工			H21からゼロ予算事業として実施。
少年体験学習事業	市	38千円	38千円	0.20人工			
幌糠地区旧校舎利活用事業	市	66千円	66千円	0.1人工			宿泊体験施設として旧幌糠中学校の夏季開放を試行中

事業費計	33,970千円	33,969千円	人件費仮換算	8,937千円
------	----------	----------	--------	---------

※人件費については、H27職員人件費平均単価を用いて算出する。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

「自ら生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合」については、一定の範囲内で増減している状況にあるが、社会教育施設においては今後も継続してサービス向上が図られるよう指定管理者と連携のうえ、事業を進める。
「社会教育環境の充実に対する満足度」については、年度によって浮き沈みが激しい傾向が見られるが、一過性のものか今後も注視していく。
また、子どもたちの豊かな人間性と健やかな体を育むため、集団生活のルールやコミュニケーションを学ぶための「少年体験学習事業」の内容等については受益者負担の在り方も含め、検討しながら進めているところである。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

効果的に施策を推進するため、指定管理者をはじめとする関係団体と今後も協働しながら、知恵を絞り、市民が興味を引く、留萌ならではの事業展開を行わなければならない。
ゼロ予算事業や国・道教委との協力、情報の共有により、効果的な事業実施に努めたい。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

指定管理者との連携による事業展開を基本とするゼロ予算事業についての検証が必要であるが、市民への学習情報の提供や学習環境の整備をはじめ、関係団体との協働による様々な事業を模索し、市民の自主的な学習活動の支援に努めていく。
図書館にあつては、設備更新、人材の適正配置について、今後も協議、検討を進める必要がある。
「少年体験事業」については、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育むために必要な事業と考えており、留萌市以外での見識を深めるため、市外の実施としたい。

施策分類名	61 芸術・文化
施策の目的	■市民が、生涯にわたって学ぶことができ、心豊かに暮らせること
施策分類の計画終了時の目指す姿	●市民や子どもたちの豊かな感性を養い、多様化したニーズに対応した芸術鑑賞の機会が増えています。 ●芸術文化活動の発表機会の創出や各種情報の収集・発信が活発になっています。

plan(P)

No	成果指標	単位	基準値	2015調査	2016調査	2016目標値
82	社会教育環境の充実に対する満足度	%	18.9	12.3	13.4	36.0
83	文化センター利用者満足度	%	52.7	56.0	60.0	76.0

Do(D)

上記施策を推進するために貢献する事務事業

事務事業名	実施主体	事業費(総額)	事業費(一財)	一般人工	嘱託人工	臨時人工	これまでの改善経過(手段、事業費等)
芸術文化振興助成金	市	490千円	0千円	0.02人工			
芸術文化振興基金積立金[留萌市応援寄附事業]	市	2,150千円	0千円	0.02人工			
文化賞事業	市	0千円	0千円	0.2人工			
るもい音楽合宿誘致環境整備事業	市	10,000千円	1,128千円	0.2人工			
子どもたちの芸術文化体験事業	市	1,092千円	0千円	0.10人工			H25から子どもたちの芸術文化体験事業として実施(伝統文化・芸術鑑賞)

事業費計	13,732千円	1,128千円	人件費仮換算	4,197千円
------	----------	---------	--------	---------

※人件費については、H27職員人件費平均単価を用いて算出する。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

「芸術文化振興助成金」については、限られた予算の範囲ではあるが、引き続き、一般市民・団体を対象にした活動支援の内容を検証し継続していく。
「社会教育環境の充実に対する満足度」は年度により、浮き沈みの激しい傾向が見受けられるが、指定管理者が行う文化事業等との連携に努めながら、今後も事業内容等の検証を行うとともに、広く市民に鑑賞機会や参加機会が増えることによって、満足度が向上するよう努めていきたい。
また、「るもい音楽合宿誘致環境整備事業」の実施により、施設環境が改善され、利便性が向上したことにより、利用者増が期待されるとことであり、幅広い分野における交流人口の拡大につながるものと考えている。
「子どもたちの芸術文化体験事業」については、継続して体験する子どものために、上級クラスの新設を平成27年度において試みている。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

芸術文化の振興には、優れた芸術文化公演などに接する機会の提供に努めるとともに、地域の自発的な芸術文化活動への支援が必要であることから、効果的な手法といえる。
子どもたちの健全な育成のため、日本古来の伝統文化の体験・芸術鑑賞や体力向上を目指す取り組みを実施し、健全な生活のバックアップを行う。特に、子どもたちの豊かな心を育むためには、優れた芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供する当該事業の実施は効果的であると考えている。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

「芸術文化振興助成金」については、市民が自ら芸術事業等を企画し発表する場への支援となっているとともに、留萌市民に芸術文化に触れる機会を創出していることから、毎年度の需要が高いため、今後も継続していく。
音楽をはじめとする芸術文化などの分野やバレーボール合宿などのスポーツ分野など、幅広い分野への拡大を検討し、方向性を見い出しながら、交流人口の拡大、地域の活性化を目指したい。
「子どもたちの芸術文化体験事業」については、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育むために必要な事業と考えており、文化センターの収容人員を確保し、多くの児童に鑑賞させるとともに、鑑賞演目の選考などについて、事業の企画段階から子どもたちを参加させ、興味を持ってもらっている。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

「スポーツ施設利用実績」については、近年減少傾向にあるが、「スポーツセンター利用者満足度」については指定管理者の努力により、満足度が向上しており、スポーツ合宿誘致に向けた事業の検証を行い、その方向性を示していく。
また、今後、市民満足度を向上させるためには、老朽化施設の整備が必要と考えられる。
「子どもの体力アップ推進事業」については、どのように広めていくかが課題となっており、今後も研究が必要である。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

「スポーツ振興助成金」については、スポーツの振興、普及のため、今後も必要であると考えている。
老朽化が著しい施設の改修または、移転について方針を打ち出すことにより、スポーツ振興策も変わるものと考えられる。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

成果指標を伸ばすためには、スポーツ振興基金の助成事業に対する周知が広まることにより、各種スポーツの活躍が期待できる反面、基金の財源確保が課題となるため、留萌市応援寄附金などのPR等による財源確保に努める。
スポーツ施設の改善により、利用者の満足度が向上されることから、老朽化への対応について、施設整備や維持補修計画の検討を進め、より良い市民サービスを提供していく。
スポーツ合宿誘致に向けた検証事業を3ヶ年実施した中で、交流人口増加や経済効果などの検証を行い、今後の事業展開に結び付けていく。
「子どもの体力アップ推進事業」については、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育むために必要な事業と考えている。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

各施設の利用実績は各年度で増減しているが、近年の数値から判断すると横ばいで推移している。指定管理者による施設管理や対応等については、施設利用者から評価されており、今後も連携を進め、サービスの向上を図る。
平成26年度より、温水プール「ぷるも」を小学校プール授業専用として一部開設を行っている。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

体育施設(温水プール除く)及び文化施設については、運営を一元化し、財源の圧縮や民間の手法を取り入れた柔軟かつ迅速な対応によって、市民サービスの向上につながっており、施策推進のために効果的な手法と考えている。今後も運営の検証を行いながら、適正な管理を進める。
神居岩スキー場を活用した「クロスカントリーコース整備事業」については、市民の健康増進とクロスカントリースキーの普及の面から、ゲレンデスキーにかわる市民の冬季スポーツ拠点として市民に活用されており、効果的な手法と考えている。現在、高校生以下の選手が少ないことから、有効活用の面で低迷しているが、若干増加傾向にあること、市民の経験者や地元で指導者がいることから、今後の利用者の増加を期待したい。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

生涯学習課が所管している社会教育施設(スポーツセンター、勤労者体育センター、弓道場、中央公民館、文化センター、市立留萌図書館)については、平成27年度から新たな指定管理期間となっている。同一受託者による全施設の一体的管理により、効率的な運営を進めるとともに、各施設の新たな活用策を探りながら、今後も市民サービスの向上や効果的な学習活動を行える環境づくりに努め、運営について協議を重ね、より良い市民サービスの提供を継続する。

スポーツ施設を含む社会教育施設の今後のあり方について検討を行い、方向性を見出すことにより、指定管理者がより良い市民サービスを提供することが可能となる。

神居岩スキー場を活用した「クロスカントリーコース整備事業」については、地元選手の育成が活発化し、有効活用が図られるよう、関係団体等と引き続き協議を進める。

温水プール「ぷるも」については、利用者アンケートを継続し、利用者のニーズ等について調査するとともに、関係団体とも協議をしながら、施設の利用拡大に向けた検討を行う。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

※合致する成果指標数値がないため、記載しない。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

※合致する成果指標数値がないため、記載しない。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

観光シーズンを迎える前に海岸のイメージアップを図るため、市民ボランティアとして目的意識を持って行う事業として定着していることから、今後も継続して実施していく。

施策分類名	64 観光・イベント
施策の目的	■市民が、まちの魅力を共有し、交流を深め、経済・文化が活発なまちにすること
施策分類の計画終了時の目指す姿	●「食」や「健康」「環境」などをテーマに、留萌の多様な地域資源を活用した観光まちづくりが推進され、北海道の新たな観光エリアとして、交流人口が拡大しています。

plan(P)

No	成果指標	単位	基準値	2015調査	2016調査	2016目標値
85	観光客入り込み数	千人	256.4	252.0	259.2	332.0
86	観光に対する気運が高まっていることに対する満足度	%	12.9	13.5	13.5	17.0
87	手軽な観光、レジャー、イベントがあることに対する満足度	%	13.4	19.8	18.2	20.0

Do(D)

上記施策を推進するために貢献する事務事業

事務事業名	実施主体	事業費(総額)	事業費(一財)	一般人工	嘱託人工	臨時人工	これまでの改善経過(手段、事業費等)
観光行政統括事業	市	1,982千円	1,982千円	0.3人工			あさひかわ観光誘致宣伝協議会への加盟(H26)、KAZUMOバス移行(H27)
観光宣伝物作成負担金	団体	552千円	552千円	0.1人工			民間主導による事業形態への移行
観光施設管理事業	団体	36,448千円	32,638千円	0.6人工			観光施設への指定管理者制度導入
観光物産PR推進事業(観光)	市	5,425千円	5,425千円	0.2人工			参加催事の精査
客船寄港歓迎事業	市	327千円	327千円	0.1人工			寄港客船の種類、回数の増減による事業費の見直し
るもい呑湊まつり実行委員会【ゼロ予算】	団体	0千円	0千円	1.0人工			

事業費計	44,734千円	40,924千円	人件費仮換算	17,875千円
------	----------	----------	--------	----------

※人件費については、H27職員人件費平均単価を用いて算出する。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

観光客の入込み数については、夏の海水浴客の増減など天候に大きく左右されるものであるが、ゴールデンビーチるもい北ゾーンの便益施設の完成、海岸花火やKAZUMOバス、各種イベントの定着など、観光施設の充実・PR、ソフト事業の実施により安定的に推移しているが、今後、これまでも課題となっている閑散期の入込増加に向けた取り組みが無ければ、増加は難しい状況にある。

また、政府がインバウンドの増加に向けた施策を強化しており、インバウンド途上地域として、H26年度から加盟した「あさひかわ観光誘致宣伝協議会」との連携や近隣自治体との連携により、国等の制度を活用した外国人旅行客の誘致活動を検討・実施することで、新たな観光入込み数の増加が期待できる。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

観光客の旅行形態や嗜好が多様化する中、これまでの観光施設整備などの行政主導によるハード事業を中心とした施策から、民間主導によるソフト事業を中心とした施策への転換は、将来的な維持管理コストの低減や時代のニーズに対応した柔軟な事業組み立てなどにおいて、効果的な手法と考えられる。

しかし、観光客が集中する夏季以外の交流人口の拡大や滞在時間・宿泊日数等の拡大を目指した取り組みは、観光客を呼び込む規模には成長しておらず、継続的な取り組みと地域条件・地域資源を活かした留萌市ならではの取り組みが必要である。

市の観光施設は、老朽化が進んでおり、修繕を主とした維持管理コストの増加が課題となっており、建て替えも視野に入れた将来の整備計画が必要になっている。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

観光客が期待する留萌市の観光資源は自然景観と新鮮な食材と認識しているが、既存の地域資源を活用した更なる取り組みが必要であり、地域資源の魅力を発信するためにも、まずは来てもらう・体験してもらう施策の取組みと、増加傾向にある外国人観光客をターゲットにした誘致活動も必要である。

高規格道路留萌大和田IC開通により、旭川圏域や札幌圏域からも交通の便が良くなり交流人口の増加も期待できるが、逆に宿泊から日帰りへの移行も懸念され、滞在時間の延長や宿泊客の確保も重要な施策となっている。

老朽化の著しい施設は、市民や観光客に対するイメージダウンにもつながり、建て替えを視野に入れた思いきった大規模な改修、新規施策の実施も必要となっている。

2020年オリンピック開催に向けた合宿誘致、2035年札幌に北海道新幹線開通に伴う誘客など、宿泊施設、スポーツ施設など設備が整っていない現状において、将来人口、子ども、地域経済など幅広い視点での全庁的な意思疎通が必要である。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

イベントも10年目を迎え、知名度もアップしており、市内はもとより旭川・札幌を中心に観光客が増加しているなど、市内経済の活性化と交流人口の増加に寄与しているものとする。

また、実行委員会が実施している、観光雑誌や旭川市のフリーペーパーなどへの広告記事の掲載についても、かなりのPR効果が発揮されているものとする。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

留萌への交流人口の増加を図りながら、海産物をはじめとした留萌地場産品の知名度向上と、消費拡大、地産地消を推進する上でも有効な手法であるとする。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

本イベントの当初の趣旨である、生産者が中心となって、海産物を始めとした地場の一次産品の消費拡大と交流人口の増加を目指していくのか、地場飲食中心の観光イベント的な要素を持たせた受け入れを行っていくのか、関係者で方向性を見出しながら継続的な事業展開と、安定的な集客を図るためのPR強化、健全なイベント運営を推進していく必要がある。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

平成27年度に予定されていた事業の一部が中止されるなどの影響から参加人数は減少となっている。また、地域性などから市民の外国人に対する意識や交流するための受け入れ体制などの整備が進んでいない。

外国人との交流機会に対する満足度は低い状況にあるが、市民の外国人に対する意識や交流するための受け入れ体制の整備を進めるため、北海道国際交流・協力総合センター(以下「HIECC」)が有している人材や財政面での支援を積極的に活用していくことは有効である。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

民間団体の事務局として支援をしているが、市民に広く国際交流の意識を持ってもらい、理解を得るには、事務局体制や事業内容の検討が必要である。

市と市民団体の役割分担を明確にし、民間主導で活動しやすい情報提供や環境づくりに努める。

国際交流事業を推進するための側面的な支援を行う事業であり、積極的な活動を行うにはHIECCの人材や財政支援は有効である。

市の国際交流を推進していくためには有効であり、また、市民や民間団体が交流を進めていくための支援としても、市が主体的に推進していく事業である。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

今後については、民間主導の体制づくりが図られるよう事務局のあり方について、検討を進める必要があり、国際交流の取り組みについて市民や関係団体と連携し、市民レベルでの交流促進に向けた意識を高めていくよう支援していく。

HIECCの支援事業の情報収集を行いながら、将来的な事業実施に向け研究していく。

今後の交流のあり方については、再検討する必要がある。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

平成21年度から児童・生徒向けの事業「留萌ふるさと学習」を行っており、また、「海のふるさと館」においては学芸員による郷土文化の解説など、小・中学生から大人までの郷土学習機会を提供することにより、「留萌の歴史や文化を大切にしたいと思う市民の割合」、「郷土文化・歴史の伝承することに対する満足度」がともに増加していると考えられる。今後においても、さらなる事業のPRや内容の充実を図ることにより、市民満足度を高めていく必要がある。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

「るもい文化遺産再発見事業」や小・中学生向けの「出前講座『留萌ふるさと学習』」については、市民に郷土の歴史文化を伝えるうえで、効果的な手法である。特に「留萌ふるさと学習」において、郷土の歴史文化を子どもの頃から体験し肌で感じることは、地域への親しみと誇りを持つ郷土愛を育むなど、青少年の成長過程において重要な役割を果たしている。
「海のふるさと館」については、現在においても留萌市の数多くの歴史や文化に関する展示物等を有していることから、今後も指定管理者であるNPO法人留萌観光協会と連携し、市の郷土文化・歴史を伝承するための中核的な施設として位置付けていかなければならない。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

郷土文化・歴史に係る施策は、ボランティアの協力や職員直営事業としてゼロ予算で実施しているところである。
今後も、市民だけではなく、市外から海のふるさと館を訪れる人に対し「出前解説『入門るもい学』」を実施し、留萌の歴史文化に対する理解を深め、留萌の郷土文化や歴史を伝承していく必要があることから、社会教育主事とともに関係所管や団体と協議のうえ、人材を育成していく必要がある。

指標数値から分析し、目標値との乖離理由や課題、問題点等を自己評価してみてください。

check(C)

「佐賀家漁場一般公開参加者数」については、便益施設を有していないこと、史跡敷地内の空き地に車両を駐車させていることから、多くの来館者や長時間にわたる滞在者の利用に対応できない状況にあるが、可能な範囲で公開を行っており、参加者数についても増加している。
積極的なPRの実施により、毎年一定程度の来場があるが、目標値との乖離があることから、さらなる事業のPRを図ることにより、歴史的建造物としての理解を深める努力を続ける必要がある。

施策の推進(成果指標数値を伸ばす)するために、効果的な手法かどうかを検証してみてください。

施設管理にあたっては、老朽化が進み復元作業が困難な状況にあることから、早急に現状維持の手法について検証し、対応しなければならない。
一般公開については、便益施設や専用駐車場を有していないことから、毎年、夏期の一定期間の公開となっているが、歴史的建造物としての理解を深めるには効果的であると判断している。

上記検証、分析を踏まえ、平成29年度に向けて、事業そのもの或いは事業手法を見直す余地はありますか。

action(A)

施設の適正な維持管理に努めながら、夏期間中に市民一般公開を継続していくが、文化財の保護、史跡建造物の復元について再検証を進めなければならない。